

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	環境振動性能評価小委員会		主 査 名：横山 裕 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (環境振動運営委員会)		委員長名：加藤信介 主 査 名：石川孝重
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境振動にかかわる最新の研究、および実務の動向に関する情報収集や、国際基、規準(案)にかかわる審議などを行う。 ・環境振動評価の現状や問題点の把握、および課題の抽出を行い、今後の環境振動評価のあり方を模索する。 ・環境振動に関する性能評価手法の学会会員への普及を図る。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 石川孝重(日女大), 植松武是(道立北方建築総合研究所), 内田季延(飛鳥建設), 大築民夫(清水建設), 川久保政茂(東急建設), 小泉達也(大林組), 新藤 智(法大), 鈴木雅靖(鹿島建設), 塚越治夫(日建設計), 野田千津子(日女大), 花里利一(三重大), 濱本卓司(武工大), 益田 勲(日本交通技術), 森下真行(前田建設), 横山 裕(東工大)		
設置 WG (WG 名:目的)			
2006 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：環境振動運営委員会の HP 内に議事録など公開 委員会 HP アドレス：環境振動運営委員会の HP よりアクセス	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 環境振動を品確法に盛り込むための具体的検討を行い、設計図程度の情報から床振動の程度を簡便に予測する方法などを模索、提案した。 2. 近年の都市、建築状況を反映して新たに顕在化することが予想される様々なタイプの環境振動問題を抽出し、情報収集を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 今後、性能の時代における環境振動評価のあり方を具体的に模索してゆくうえで、日常実務に携わっている方々との情報交換をより一層緊密にしてゆくとともに、新たに発足する設計法に関する小委員会の活動と連携を取り、性能評価手法や設計手法確立のための作業を効率化してゆく必要がある。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2006 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>B</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本小委員会で、環境振動で取り扱うべき新たな問題を模索，抽出する活動を行った結果として、低周波音(振動)の建築的な評価について検討する必要性を明らかにし、横断的な研究組織の設置を運営委員会に働きかけた。その結果、2007年度、環境振動運営委員会傘下のWGとして、低周波音(振動)に関する居住性能評価検討WGが発足した。 2. 環境振動を品確法などに取り込むための活動として、人間の動作時に発生する床振動の程度やその評価値を設計図程度の情報から簡便に予測する方法を具体的に検討し、妥当性を検証した。 3. エンドユーザーである一般市民が認識する振動環境の重要度，居住性に与える影響度合、あるいは設計の際の優先度などについて調査を実施し、学会の居住性能評価指針に示された知覚確率曲線(V 曲線)の位置付けや性格などを明らかにするとともに、品確法などで参照する評価値の設定方法などに関する知見を集積した。 4. 2.および3.の結果、環境振動を品確法などに取り込むための準備はかなり整ってきたものとみなせる。

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。